



“私たちの暮らしと水”

～水が語る府中～

”水“は私たちの命と暮らしにとって不可欠です。飲料水に加えて、文明社会では、炊事、洗濯、風呂、水洗トイレと、毎日、多くの生活水が必要です。さらに、農業や工業には大量の水を必要としています。

多摩川の中流域に発展してきた府中のまちの人々は、どのように“水”と向き合ってきたのでしょうか？東京近郊として急速に都市化が進んだ府中では、今、“水”はどのように供給され、どのように使われ、どのように海に還されているのでしょうか？

この講座では、ともすれば当たり前と思っている“水”について、あらためて学び直し、これからどのように“水”と向き合っていけばよいのかを考える機会にしたいと思います。



多摩川と府中

府中市提供

講座日程 (会場は府中市生涯学習センター講堂)

	日時	講師	テーマ/内容
1	11月7日 (木) 14:00～16:00	佐藤 智敬氏 (府中市郷土の森博物館 学芸員)	府中の人々の暮らしと“水” 昭和 30 年代以前の府中の人々の“水”とのかかわりを、田んぼや用水路、井戸、多摩川の鵜飼、雨具などさまざまなエピソードを交えて紹介します。
2	11月14日 (木) 14:00～16:00	金子 智氏 (東京都水道歴史館 学芸員)	東京の上水道の歴史 玉川上水など江戸の上水道から、現代の大都市・東京の上水道まで、その発展の歴史を学びます。そして東京の“水”の今を紹介します。
3	11月21日 (木) 14:00～16:00	小倉 紀雄氏 (日野市立カワセミハウス 館長・東京農工大名誉教授)	多摩川の水環境の変遷 流域の都市化により、また下水道の整備により、多摩川の水質は時代と共に変遷してきました。その要因、および今後について考えます。
4	11月28日 (木) 14:00～16:00	府中市生涯学習ボランティア 「悠学の会」 プロジェクトチーム	現地探訪 -画像と動画を交えて紹介 ・ 府中市・東京都の上・下水道施設を訪ねて 府中の暮らしの水はどこから、そしてどこへ ・ 府中水紀行 大国魂神社と水、水のある風景など



受講料 2080 円 (全 4 回) (1 回から受講可 720 円)

定員 290 名 (申込先着順)

申込先：府中市生涯学習センター総合受付

TEL：050-3491-9849

